

課税による生産者（売り手）余剰と消費者（買い手）余剰の変化に関する問題である。

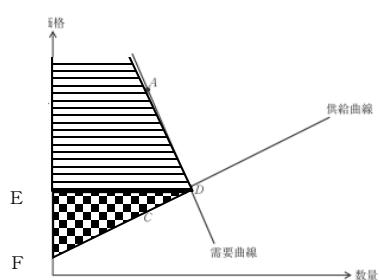


図1

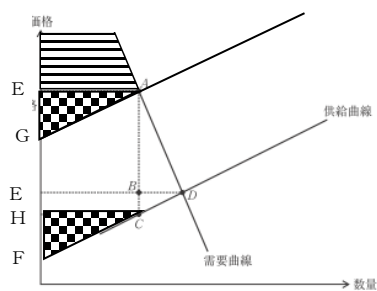


図2

課税前の売り手の余剰は図1の $\triangle DEF$ 、買い手の余剰は図1の横線部分である。課税後の売り手の余剰は図2の $\triangle AEG$ ($=\triangle CHF$)、買い手の余剰は図2の横線部分である。

ア：適切である。上記の説明のとおり、買い手の余剰は課税によって $\square ADGE$ 分減少し、売り手の余剰は $\square DEHC$ 分減少する。減少分は買い手余剰の方が大きい。つまり、税負担は買い手＝需要者の方が重い。